

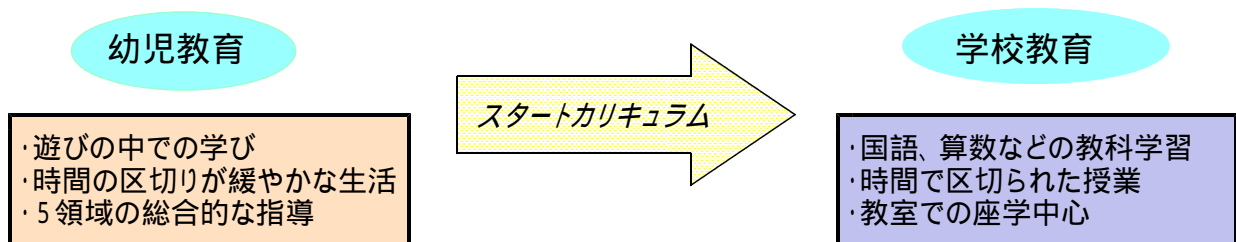
Q2 生活科で取り入れる「スタートカリキュラム」とはどのようなものか。

A：今日の小学校教育では、小1プロブレムなど、学校生活への適応を図ることが難しい子どもの実態があることが課題にあげられている。このことへの対応として、今回の学集指導要領の改訂では幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図ることが示された。入学当初のスタートカリキュラムでは、他教科等の内容を合わせて中心的な役割を果たす生活科を核とした単元を構成したり、他教科等においても、生活科と関連する内容を取り扱ったりする合科的・関連的な指導の一層の充実が求められる。これにより児童は、幼児教育から小学校教育へと円滑に移行することができる。

文部科学省のホームページには、以下のような説明がある。

いわゆるスタートカリキュラムとは、児童が義務教育の始まりにスムーズに適応していけるようなカリキュラムを構成することです。例えば、小学校第1学年において、教科を横断した大単元から各教科の単元へと分化していく教育課程を編成することが考えられます。具体的には、生活科において学校を探検する学習活動を行い、そこで発見した事柄について、伝えたいという児童の意欲を生かして、国語科、音楽科、図画工作科においてそれぞれのねらいを踏まえた表現活動を行うなど、合科的に扱うことが考えられます。（文部科学省「新しい学習指導要領 Q&A」生活科参照）

入学当初は、児童に「明日も学校に来たい」という意欲をかきたて、学校生活への適応を無理なく進めることが大切である。



1 スタートカリキュラム作成上の留意点

- (1) 生活科を核として、教科、道徳、特別活動などの内容を合科的・関連的に扱い、大きな単元を構成する。
- (2) 単元または1単位時間の中で複数の教科の目標や内容を組合せ、児童が具体的かつ総合的に学習できるよう工夫する。その際、関連した教科の目標が生活科の目標と共に達成されるよう配慮する。
- (3) 単元の中では、児童が自らの思いや願いの実現に向けた活動を、ゆったりした時間の中で進めていくようにする。
- (4) ダイナミックな単元として指導を行うため、時数の計上は、きちんと区分けできるものではないので、単元の中でそれぞれの教科で計上する。

なお、学習内容の指導の順序や指導方法については、学級の実態等に応じて柔軟に展開することが望ましい。

2 スタートカリキュラムの例

例 1 生活科に他教科との関連を示した指導計画例

【単元名】だいすき! しょうがっこう 4～5月 24時間扱い(生活科14・国語4・算数1・音楽1・図工1・道徳2・学活1)				
目 標	(関) 小の様々な施設や先生や友達などに関心をもってかかわろうとしている。 (思) 小の様々な施設やたくさんの先生、友達とかかわり、きまりやマナーを守りながら、楽しく生活することができる。 (気) 小の施設やそこにいる人がわかり、共に生活することの楽しさに気付く。			
	ねらい	主な学習活動	教師の支援・留意事項	他教科等
ともだちになりたいたいな	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の友達の名前を覚えたり、遊んだりしながら、仲良しになる。(関・意・態) 校庭の遊具などの使い方を考え、楽しく使うことができる。(思・表) 	<ol style="list-style-type: none"> 友達と遊ぼう(2) <ul style="list-style-type: none"> 校庭や遊具で好きな遊びをする。 遊具や施設の使い方やきまりを考える。 自分のことを話そう(1) <ul style="list-style-type: none"> 先生の自己紹介を聞く。 みんなの前で自己紹介をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具の使い方やルールについては、幼稚園や保育所での遊びの経験を生かして、みんなで話し合うようにする。 国語科との関連を図りながら楽しく話ができるようにする。 入学前の記録等で一人一人について幼稚園や保育所での様子も把握しておくようにする。 	【道徳】1 「あかるいあいさつ」礼儀 【国語】1 「はる」挿絵を見て、先生や友達に話す。
2年生と遊ぼう	<ul style="list-style-type: none"> 2年生の名前を覚えたり、一緒に遊んだり、進んでかかわろうとする。(関・意・態) 	<ol style="list-style-type: none"> 2年生と遊ぼう(2) <ul style="list-style-type: none"> 音楽に合わせて簡単なゲームをする。 一緒に遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 2年生の担任と事前に打ち合わせをし、お互いのねらいと支援の仕方を共通理解する。 	【音楽】1 「音楽ランドへしゅっぱつ」
なにがあるかな だれがいるかな	<ul style="list-style-type: none"> 校舎内外に関心をもちながら様々な教室や先生などにかかわろうとする。(関・意・態) 見つけたものや出会った人にかかわったり、友達に伝えたりすることができる。(思・表) 学校には様々な施設や人々がいることがわかる。(気付き) 	<ol style="list-style-type: none"> 学校探検をしよう(3) <ul style="list-style-type: none"> 1回目の探検をする。 探検の歌やバッジを作る。 見つけたものや出会った人などについて知らせ合う。 探検パートをしよう(4) <ul style="list-style-type: none"> 興味をもったところに2回目の探検に行く。 2回目の探検で気づいたことを文や絵にまとめ、友達や先生と伝え合う。 学校の周りを歩こう(2) <ul style="list-style-type: none"> 通学路を歩く。 安全を守る人や設備を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校探検のねらいや1年生へのかかわり方について他の教職員と共通理解を図り、全校体制で1年生を迎えるようにする。 探検で使用する名刺づくりでは、文字だけでなく、絵や立体的なものなど、多様な表現を認めるようにする。 1回目の探検で得た情報をやりとりする場を設け、さらなる興味をもって、2回目の探検ができるようにする。 危険箇所などの視点だけでなく、安全を守ってくれる人やこども110番の家などに目が行くようにする。 飼育動物や草花など自然や季節を感じる言葉かけをし、他の単元につながるようにする。 	【国語】1 「どうぞよろしく」名前をひらがなで書く。 【国語】2 「たんけんしたよみつけたよ」質問の仕方等 【算数】1 「かずとすうじ」物や人の数 【図工】1 「好きなものいっぱい」絵画表現 【道徳】1 「しぜんのちから」生命尊重 【学活】1 「安全な登下校」

例 2 大単元から徐々に各教科に分化していく指導計画例
大単元の指導計画の一部を掲載

<p>単元名 ねらい</p>	<p>がっこうだいすき みんなだいすき (総時数 70時間)</p> <p>1 学校の施設や職員、友だちとかかわろうとすることができる。 2 学校生活のきまりや人とかかわるときのマナー、ルールがわかる。 3 学校から外へと体験を広げ、体験したことや見つけたことを伝え合う。</p>
<p>単元名</p>	<p>生活科を核とした単元</p>
<p>はじめまして(23時間)</p>	<p>いちねんせいに なったよ ・自己紹介をしよう ・学校をあるいてみよう</p> <p>みんな なかよし ・先生や友だちの名前を覚えよう ・きもちのいいあいさつ ・学校のようにすをしらせよう ・名前を書こう</p> <p>なにが あるかな ・教室にはなにがあるかな ・校舎の中には何があるかな ・図書室に行ってみよう ・おはなしよんで ・音楽室に行ってみよう</p> <p>みんなで あそぼう ・体育館で遊ぼう ・校庭を歩いてみよう ・遊具で遊ぼう ・かだんにはなにがあるかな ・きまりはなぜあるの ・おいしい給食 ・すきなものを描こう ・歌って遊ぼう ・作って遊ぼう</p>
<p>配当時数</p>	<p>国語(4) 算数(1) 生活(5) 音楽(2) 図工(4) 体育(3) 道徳(2) 特別活動(2)</p> <p style="text-align: right;">計 23時間</p>
<p>なかくなるうよ(18時間)</p>	<p>なかよくなるう ・名刺を作ろう ・先生方となかよくなるう ・学校中の人となかよくなるう ・「1年生を迎える会」に行こう ・みんなのがっこう ・2年生となかよくなるう ・うさぎとなかよくなるう ・なかまの旗をつくろう ・「なかよし集会」の準備をしよう ・「なかよし集会」をしよう ・がっきゅうのうたをつくろう ・楽しかったね なかよくなれたね</p>
<p>配当時数</p>	<p>国語(4) 生活(7) 音楽(1) 図工(2) 道徳(1) 特別活動(3)</p> <p style="text-align: right;">計 18時間</p>

参考資料

「小学校学習指導要領解説 生活編」	H20.8	文科省
「教育課程編成の手引き」	H22.3	県教委
「小・中学校 新教育課程に向けてのQ & A 生活」	H20.3	県教委